

香川県立保健医療大学では、学生が医療統計学やデータサイエンスの知識を身につけ活用できるようクリニカルデータサイエンス教育プログラムを実施しています。

看護学科では、1年次に開講される「情報リテラシー」、「看護情報学」、2年次に開講される「看護統計」がプログラム該当科目です。

臨床検査学科では、1年次に開講される「医療統計学Ⅰ」、2年次に開講される「公衆衛生学Ⅱ」がプログラム該当科目です。

本教育プログラムを修了することで、社会や保健医療分野におけるデータ活用ならびに情報倫理の重要性を理解し、データを適切かつ科学的に収集・管理・整形・分析し、分析結果に基づいて正しく解釈したり、因果関係を推論したりする能力・技術を獲得することができます。

保健医療学部の1～2年次の全学生が対象（必修）

看護学科

情報リテラシー（専任教員が担当）＜15時間・1単位＞

【データ・AIの利活用における一般的な留意事項についてデータを守ることの重要性を理解】  
・社会でのデータ活用を例に、情報や個人情報とは何か、その取り扱いや管理、情報倫理等を学修

看護情報学（専任教員が担当）＜15時間・1単位＞

【保健医療分野を中心に社会でのデータ・AIの利活用を理解し、その留意事項についてバイアスや個人情報の保護を理解】  
・保健医療分野における個人情報の取り扱いやバイアスについて学修  
【因果推論を軸にデータリテラシーの基礎を修得】  
・因果推論に掛かる統計指標、データ収集法、それらの関連について学修

看護統計（専任教員が担当）＜15時間・1単位＞

【アプリケーションを用いてデータリテラシーと分析の基礎を修得】  
・EXCELやJMPを用いて、データの入力方法、データの可視化や分析の方法、分析結果の解釈を学修

臨床検査学科

医療統計学Ⅰ（非常勤講師が担当）＜30時間・1単位＞

【データ・AIの利活用における一般的な留意事項についてデータを守ることの重要性を理解】

【アプリケーションを用いてデータリテラシーと分析の基礎を修得】

公衆衛生学Ⅱ（専任教員が担当）＜15時間・1単位＞

【保健医療分野を中心に社会でのデータ・AIの利活用を理解し、その留意事項についてバイアスや個人情報の保護を理解】

【因果推論を軸にデータリテラシーの基礎を修得】

上記3科目合計3単位を修得すること

＜修了要件＞

上記2科目合計2単位を修得すること

社会や保健医療分野におけるデータ活用ならびに情報倫理の重要性を理解し、データを適切かつ科学的に収集・管理・整形・分析し、分析結果に基づいて正しく解釈したり、因果関係を推論したりする能力・技術を獲得。

本教育プログラムでは、対面による講義とオンデマンド教材を組み合わせたハイブリッド型の講義スタイルを採用しています。履修学生は、テキストによる予習、対面の講義、LMS (Moodle) による復習と確認によって、医療統計学やデータサイエンスの知識・技術の獲得と定着ができるようになっています。

